



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.20
六甲山に生涯学習の場を
求めて/あけびグループ
2004年11月発行

第20回テーマ： 六甲山に生涯学習の場を求めて



紙芝居「やまのゆうびん屋さん」

講演内容

六甲山の
歴史と楽しみ方

紙芝居

「やまのゆうびん屋さん」



講師：あけびグループ

プロフィール

2003年神戸婦人大学
文化学科卒業生。同年4
月に12名で「あけびグ
ループ」を結成。

実施日：平成16年11月20日(土)

午後1時～4時

場 所：六甲山自然保護センター内
レクチャールーム

ストーブ3台を用意

自然保護センターでの今年最後の市民セミナーとなりました。(暖房設備のないセンターは12月から来年3月まで冬眠?に入ります。)日中は好天に恵まれて暖かく、センターにあるストーブ2台をお借りしました。寒さ対策に持ち込んだストーブ3台は使わずに過ごせました。

生涯学習2年間の成果発表

今回は六甲山をフィールドに活動している、神戸婦人大学卒業生の「あけびグループ」12名の皆さんに実践発表をお願いしました。「六甲山の楽しみ方」をテーマに六甲山全体を見渡した活動の要点を簡潔に紹介いただきました。そして今後の活動テーマとして、次世代の子供達に六甲山の魅力を伝えようと作られた紙芝居を披露していただきました。



青い山脈も合唱

呼吸はぴったり！チームワークと演出

お揃いのベストを身につけた12名の発表の呼吸はぴったりで、時間配分も完璧！その光景には

参加者の長老澤田さんは「ボートとしていました」と、松井さんは「六甲山の二十四の瞳」と感心するなど、あけびグループのリズムに引き込まれました。また、手作りの押し花ファイルのおみやげもいただき、心配りに感服しました。

市民セミナーの持ち味

生涯学習の実践例としてあけびグループに発表していただきましたが、この度のように専門家だけでなく一般の参加者も研究発表を行い、参加者同士で幅広く意見交換することが、市民セミナーの持ち味だと考えています。今回を生かして市民の交流を盛んにできるよう取り組んでいきます。

詳しくは1～2ページをお読みください。

参加の感想 藤 菅 和子さん



今日は、神戸婦人大学の卒業生の「あけびグループ」の方々と会い出来ることを楽しみに出掛けました。

六甲山は近くにあるのに遠くにある、という存在でした。

六甲山の歴史ハイキングの発表では、とても詳細に説明していただき3つのコースの特徴がよくわかりました。ぜひコースを歩こうと思います。今まで自分の知らなかったことが学べて本当に楽しい1日でした。

主催：六甲山自然保護センターを活用する会

後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館
灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金